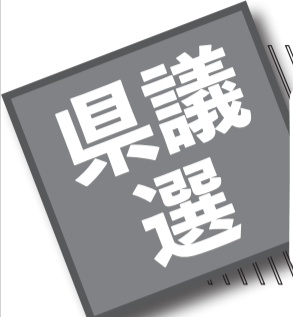


県医師連盟機関紙
第21号

発行責任者
県医師連盟委員長 池田琢哉
令和 5 年 3 月 22 日

鹿児島県医師連盟新聞

編集・発行
鹿児島県医師連盟
鹿児島市中央町 8-1
電話 099-213-1011
FAX 099-213-1012
印刷 南日本新聞開発センター



自民公認の36氏推薦

任期満了に伴う鹿児島県議会議員選挙は、3月31日告示、4月9日に投票が行われる。今回の選挙は定数51議席で、21選挙区。3月20日現在77人が立候補を表明している。内訳は現職42、元職3、新人32の計77人。鹿児島県医師連盟は2月28日に開いた執行委員会で、各地区の状況について意見を交わした。最終的に各郡市の意向を踏まえ、立候補予定者のなかから推薦候補、重点候補などを決めた。推薦候補は36人(現職32人、元職1人、新人3人)で、いずれも自民党公認候補。自民公認の7氏を最重点候補に、ほかに自民公認候補24氏を重点候補に決めた。各選挙区管轄の郡市医師連盟が支援・支持活動を展開する。

池田琢哉委員長は今回の県議選について「我々の政策、主張を実現するための4年に1度の大事な選挙だ。推薦候補全員の当選を目指したい」と話している。

県議選の推薦候補を協議した医師連盟の執行委員会(鹿児島県医師会館)



選挙区別	県医師連盟推薦
鹿児島市鹿児島郡区 (定数 17名) 鹿児島市医師連盟	○寺田洋一(69)自現④ ○藤崎剛(49)自現④ ○長田康秀(45)自現③ ◎宝来良治(54)自現② ○柴立鉄平(43)自現① □外城戸昭一(61)自現① ○岩重礼(44)自現① □本田静(41)自新 □有川博幸(64)自新
薩摩川内市区 (定数 3名) 川内市医師連盟	○外蘭勝藏(71)自現⑥ ◎鶴蘭真佐彦(69)自現⑥
鹿屋市・垂水市区 (定数 4名) 鹿屋市医師連盟	○堀之内芳平(70)自現⑤ ○大久保博文(58)自現③ ○郷原拓男(45)自現②
枕崎市区 (定数 1名) 枕崎市医師連盟	○西村協(69)自現②
いちき串木野市区 (定数 1名) いちき串木野市医師連盟	◎吉留厚宏(61)自現⑤
伊佐市区 (定数 1名) 伊佐市医師連盟	◎池畑知行(41)自現①
指宿市区 (定数 1名) 指宿医師連盟	○小園成美(65)自現⑤
南さつま市区 (定数 1名)	○園田豊(63)自現④
南九州市区 (定数 1名) 南薩支部	○田畑浩一郎(46)自現②
薩摩郡区 (定数 1名)	◎白石誠(44)自現①
薩摩川内市区 (定数 3名) 薩摩郡医師連盟	○外蘭勝藏(71)自現⑥ ◎鶴蘭真佐彦(69)自現⑥

選挙区別	県医師連盟推薦
阿久根市・出水郡区 (定数 1名)	□中村素子(50)自現②
出水市区 (定数 2名) 出水郡医師連盟	○伊藤浩樹(58)自現② □小幡興太郎(52)自現①
霧島市・始良郡区 (定数 4名)	○田之上耕三(79)自現⑨ ○山田国治(77)自現⑨ ○中村正人(61)自現①
始良市区 (定数 2名) 始良地区医師連盟	○米丸麻希子(47)自現①
志布志市・曾於郡区 (定数 1名) 曾於医師連盟	○西高悟(63)自現③
肝属郡区 (定数 1名)	○鶴田志郎(65)自現⑥
鹿屋市・垂水市区 (定数 4名) 肝属郡医師連盟	○堀之内芳平(70)自現⑤ ○大久保博文(58)自現③ ○郷原拓男(45)自現②
肝属郡区 (定数 1名)	○鶴田志郎(65)自現⑥
鹿屋市・垂水市区 (定数 4名) 肝属東部支部	○堀之内芳平(70)自現⑤ ○大久保博文(58)自現③ ○郷原拓男(45)自現②
西之表市・熊毛郡区 (定数 2名) 熊毛地区医師連盟	○松里保廣(65)自現⑦ ○日高滋(69)自現⑥
奄美市区 (定数 2名)	◎永井章義(66)自元⑤ ○松山さおり(55)自新
大島郡区 (定数 2名) 大島郡医師連盟	○禧久伸一郎(66)自現④ ◎寿肇(49)自現①

◎……最重点候補 □……推薦候補
○……重点候補

医療系候補など7氏を最重点に

自見先生からのご寄稿いただきました

参議院議員 自見はなこ 活動報告

「国民医療の発展に向けて」



松本吉郎委員長をはじめ日本医師連盟の先生方におかれましては、新型コロナウイルス感染症対策や物価高騰、四月からのオンライン資格確認導入への対応などさまざまな課題のなか医療現場をお支えくださり、感謝申し上げます。

今年一月二十三日に第二十一回国会が開会し、四月の統一地方選挙、五月のG7広島サミット開催もあり、予算・法案審議をはじめとする政治日程も慌ただしくなることが予想されますが、医療界の声を国政に届けて参ります。

今国会の展望

岸田文雄内閣総理大臣が施政



1月17日 日本医師連盟執行委員会

方針演説で「従来とは次元の異なる少子化対策を実現したい」と発言されるなど、今国会はわが国のことも政策の転換点になる重要な局面です。「こども予算倍増」に向けた安定財源についても今夏の骨太の方針で示すべく議論が進められています。担当政務官として気を引き締め臨みます。

厚生労働省関係の法案では、「かかりつけ医機能」のあり方に係る全世代型社会保障制度の関連法案があります。わが国の国民皆保険制度の根幹の一つであるフリーアクセスを守りつつ、必要な医療・介護・福祉等が行き渡るよう努めて参ります。国立感染症研究所と国立国際医療研究センターを統合した専門家組織「国立健康危機管理研究機構(仮称)」の設置法案と関連法の整備法案もあります。内閣官房からは「新型インフルエンザ等対策特別措置法」および「内閣法」の改正案が提出予定で、次の感染症危機に迅速・的確に対応する司令塔組織「内閣感染症危機管理統括庁」設置に向けたものです。

新型コロナウイルス感染症は五月八日から五類に引き下げられますが、



1月20日 岡山大学病院視察



1月19日 自民党「こども・若者」輝く未来創造本部



1月30日 自民党東京政経フォーラムにて統一地方選挙の応援



1月24日 こども政策に関する国と地方の協議の場準備会合



2月6日 新型コロナウイルス感染症対策本部 訪日外国人観光客コロナ対策PTにて日本医師会からの要望を受けて訪日外国人観光客の民間医療保険加入義務化について発言



2月3日 自民党厚生労働部会会議前 かかりつけ医機能の制度整備を含む、健康保険法等の一部を改正する法律案の法案審査

医療提供体制へ悪影響が生じないよう、予防接種費や治療費の公費負担のあり方や水際対策等の見直しは段階的に進めていかねければなりません。

今回のかかりつけ医制度化の議論の発端は、令和四年五月十七日にとりまとめられた全世代型社会保障構築会議の議論の中間整理における以下の記載から始まります。「今回のコロナ禍により、かかりつけ医機能などの地域医療の機能が十分作動せず総合病院に大きな負荷がかかるなどの課題に直面した。かかりつけ医機能が発揮される制度整備を含め、機能分化と連携を一層重視した医療・介護提供体制等の国民目線での改革を進めるべき」。

続いて五月二十五日、財務大臣の諮問機関である財政制度等審議会の取りまとめ「歴史の転換点における財政運営」の医療関係で「かかりつけ医に対して利用希望の者による事前登録・医療情報登録を促す仕組みを導入していくことを、段階を踏んで検討していくべき」と明記されました。

全世代型社会保障構築会議の指摘は、感染症法という法律に基づき発熱外来を設けて新型コロナウイルス感染症疑いの患者さまの受診を厚生労働大臣の指

示で区分した我々には、到底受け入れることのできない矛盾した指摘でした。政府の指摘として看過できない内容のため、昨年五月にテレビ入りの参議院予算委員会で岸田総理に答弁を求めたことは日医連ニュースでもご報告したとおりです。

これら一連の動きのなかで、日本医師会でも医療政策会議において「かかりつけ医ワーキンググループ」が鈴木邦彦先生を座長として立ち上がり、厚生省でも検討が重ねられました。さまざま調整を経て、令和五年二月三日の自民党厚生労働部会においてかかりつけ医機能の制度整備を含む、健康保険法等の一部を改正する法律案の法案審査が行われました。

したが、かかりつけ医についての記述のなかで、都道府県が、都道府県が「かかりつけ医の機能について報告を受けたものを『確認』して公表する」という条文が大きな議題となり、参加した国会議員の了解を得ること

ができず、法案審査の了承が見送りとまりました。懸念が示された点は、在宅医療や夜間診療などの要件について、都道府県が「確認」と記載されており、その確認が行政処分を伴う行政行為としての記載なのか、そうではなく事実行為としての記載なのかという点でした。結果として、二月六日の自民党厚生労働部会で以下が新たに役所から示され、再審査のうえ了承となりました。○今回の「確認」

は行政行為(行政庁の処分)ではない。○体制について、現時点で診療実績が発生していないものの仮にそうした患者があった場合に受け入れる体制を含めて「確認」するもの。○要件を客観的なものにしたうえで、報告様式に反映させるなど、できるだけ医療機関や自治体の業務への影響に配慮することとする。今後は、自民党内における手続きを終え内閣提出法案となつたのち、国会で審議されます。

私は現在内閣府大臣政務官の立場であり国会で質疑に立ってないものの、多くの国会議員の先生方と力を合わせて、我々の懸念についても十分に審査されるよう引き続き緊張感をもって臨んで参ります。自民党内の審議に先立ちまして、都道府県医師連盟の先生方が、地元選出の国会議員の先生方に働きかけてくださいましたことが、今回の動きにつながっております。心から感謝申し上げます。